

FLOOR 01 シンポジウム・プレテクノモール・学内外連携プログラム

BOOTH 01 シンポジウムスペース Symposium Session シンポジウムセッション
01 大学発ベンチャーによるイノベーション創出に向けて
13:00-14:10
我が国のイノベーション創出に向けて、産官学連携によるさまざまな取り組みがなされてきました。特に近年、大学発ベンチャーへの期待はますます高まりを見せています。本シンポジウムでは、経済産業省、文部科学省両省のイノベーション政策、慶應発ベンチャーの社長からの体験談を紹介頂くとともに、慶應義塾の取り組みについて紹介します。さらに、大学発ベンチャーを加速するための戦略や、イノベーション創出へと結びつけるためのモデルなど、ラウンドテーブル形式で議論します。

BOOTH 02 KLL プレテクノモール紹介コーナー
2021年度に実施されたプレテクノモールのアーカイブをご覧ください。
BOOTH 05 KLL インキュベーション活動支援採択プロジェクト
慶應義塾発ベンチャー企業の設立を目指す学生のプロジェクトです。
BOOTH 06 学内外連携プログラム
2040独立自前プロジェクト紹介動画と、企業との連携のためのPR資料の配布
BOOTH 11 KLL 産学連携相談窓口
産学連携に関する相談窓口です。

BOOTH 03 学内外連携プログラム
2021年4月に設立された共生知能創発社会研究センターについて、設立の目的と活動内容の紹介
BOOTH 06 KLL KLL-ONE:第3回学生ビジネスコンテスト
BOOTH 09 学内外連携プログラム
慶應義塾大学が保有する特許のご案内
BOOTH 12 KLL 『新版 窮理図解』コーナー
毎週ひとりの研究者を取り上げて紹介する研究広報誌です。すべての号を閲覧できます。

BOOTH 04 学内外連携プログラム
スピントロニクス研究開発センター
BOOTH 07 学内外連携プログラム
慶應義塾大学 AI・高度プログラミングコンソーシアム
BOOTH 10 学内外連携プログラム
慶應義塾大学が保有する特許のご案内(個別相談ブース)
BOOTH 13 KLL フロアガイド・タイムテーブル・操作方法案内
フロアガイド、タイムテーブル、システムの操作方法をご案内しております。

FLOOR 02 マテリアル・エレクトロニクス

BOOTH 01 プース紹介
マテリアル・エレクトロニクス フロアの
出展ブースのご紹介
BOOTH 06 マテリアル
外場を必要としない微小空間センシング技術の開発
BOOTH 11 その他
小分子を用いた刺激応答型発光分子の開発
BOOTH 16 エレクトロニクス
ナノカーボン材料を用いたチップ上光電子デバイス
BOOTH 21 マテリアル
機能複合ナノクラスター材料の開発

BOOTH 02 マテリアル
トップダウン加工による撥水・撥油表面の作製と
ナノ流体デバイスへの応用
BOOTH 07 マテリアル
有用糖質を効率的に合成する新手法の開発と応用
BOOTH 12 マテリアル
電気化学プロセスによる黒色反射防止膜
BOOTH 17 マテリアル
マイクロ・ナノ機能性材料の加工と統合による
医療・情報デバイス
BOOTH 22 マテリアル
エネルギー材料としての
複合アニオン層状化合物(MALCs)

BOOTH 03 マテリアル
結晶性高分子による長鎖アルカンの優先吸蔵と
その起源
BOOTH 08 マテリアル
脱プラスチックを可能にする
化学・バイオリアクターの開発
BOOTH 13 エレクトロニクス
大規模集積化センサのインタフェース用高精度、
低電流回路に関する研究
BOOTH 18 エレクトロニクス
相変性材料を用いた超小型光スイッチ
BOOTH 23 エレクトロニクス
次世代ウェアラブルのための
ストレッチャブルエレクトロニクス

BOOTH 04 マテリアル
走査型プローブ顕微鏡による機能性ナノ材料の評価
BOOTH 09 マテリアル
人工ナノバクテリアはどのように使えるか?
技術革新を目指した次世代の素材開発へ
BOOTH 14 マテリアル
テラヘルツ光によるゴム・プラスチック材料の
物性評価
BOOTH 19 エレクトロニクス
一般相対性理論を応用したスピントロニクス技術
BOOTH 24 マテリアル
ナノマテリアルとナノ構造の生成

BOOTH 05 情報コミュニケーション
Co-Packaged Optics技術のための
ポリマー光導波路デバイス
BOOTH 10 その他
最小限のエネルギーで進行する赤色光駆動反応
BOOTH 15 マテリアル
ダイヤモンド x 電気 x モノづくり
BOOTH 20 エレクトロニクス
波動制御
BOOTH 25 エレクトロニクス
銀結晶ダイレクトチップ接合における
パワーデバイス構造の熱サイクル試験での熱応力解析

FLOOR 03 メカニクス・その他

BOOTH 01 プース紹介
メカニクス・その他 フロアの
出展ブースのご紹介
BOOTH 06 その他
新規に開発されたサンスクリーン剤SPFの
in vitro評価法
BOOTH 11 その他
ヒューマンコピーシステム

BOOTH 02 メカニクス
波動デバイスのトポロジー最適化
BOOTH 07 メカニクス
3Dレット型複合加工機の知能化技術の開発
BOOTH 12 メカニクス
超瞬発マシン

BOOTH 03 メカニクス
保安および負荷軽減への振動・波動の応用
BOOTH 08 メカニクス
光学材料の超精密加工と知能化加工システム
BOOTH 18 メカニクス
フレームメタ情報に基づくリアルタイム要求適応型
多視点映像配信手法

BOOTH 04 メカニクス
MEMSカセンサとその応用
BOOTH 09 メカニクス
高機能金属3Dプリンタの応用
BOOTH 19 メカニクス
人の人による人のためのCG

BOOTH 05 メカニクス
モノの不安定性を駆逐する
- 構造不安定性を活用した工業デザイン -
BOOTH 10 その他
応用抽象化と総合デザイン

FLOOR 04 情報コミュニケーション

BOOTH 01 プース紹介
情報コミュニケーション フロアの
出展ブースのご紹介
BOOTH 06 情報コミュニケーション
Society 5.0におけるネットワークコントロール型
自動運転プラットフォーム
BOOTH 11 情報コミュニケーション
MEC (Multi-access Edge Computing) 用
マルチFPGAシステム
BOOTH 16 情報コミュニケーション
画像AIの実用に向けた深層学習の効率化
BOOTH 21 情報コミュニケーション
高機能光学素子の加工

BOOTH 02 情報コミュニケーション
量子コンピューティング技術とAIの融合による
最適化処理の高速化
BOOTH 07 情報コミュニケーション
超波長多重光通信を可能とする
超小型・集積光周波数光源
BOOTH 12 情報コミュニケーション
組込みリアルタイムシステム
(CPU, SoC, SIP, RT-OS, ネットワーク)
BOOTH 17 情報コミュニケーション
風力自立電源とWi-Fiマルチホップ通信を利用した
画像の収集が可能なIoTシステム
BOOTH 22 情報コミュニケーション
量子コンピューティングソフトウェア

BOOTH 03 情報コミュニケーション
3Dセンサを用いたAR/VR自動計測システム
BOOTH 08 情報コミュニケーション
高信頼ネットワーク化制御システム
BOOTH 13 情報コミュニケーション
画像AI技術による動画内容の深い理解
BOOTH 18 情報コミュニケーション
フレームメタ情報に基づくリアルタイム要求適応型
多視点映像配信手法
BOOTH 23 情報コミュニケーション
自動車ネットワークにおける
マルチアクセスエッジコンピューティング

BOOTH 04 情報コミュニケーション
深層RNNを用いた時系列データの予測・表現学習
BOOTH 09 情報コミュニケーション
Beyond 5Gに向けた、新しい光ネットワークのコンセプト
- 超高速による超大容量伝送・エッジコンピューティング技術 -
BOOTH 14 情報コミュニケーション
インフラクティブAI: 相互理解プロセスの研究
BOOTH 19 情報コミュニケーション
人の人による人のためのCG
BOOTH 24 情報コミュニケーション
自動運転車と手動運転車の混在環境における
協調合流手法

BOOTH 05 情報コミュニケーション
オンデバイス学習による現場で学習できる
異常検知器
BOOTH 10 情報コミュニケーション
バイラテラルAI
BOOTH 15 情報コミュニケーション
ユーザ体感品質を考慮した連動映像ストリーミング
BOOTH 20 情報コミュニケーション
密着無線LAN環境における強化学習を用いた
空間再利用

FLOOR 05 医学・バイオ・社会環境

BOOTH 01 プース紹介
医学・バイオ・社会環境 フロアの
出展ブースのご紹介
BOOTH 06 バイオメディカル
瓢箪から胸
- 自然界の知恵を産業の糧に
BOOTH 11 バイオメディカル
金ノ粒子プラズモンニック・バイオセンシング
BOOTH 16 社会・環境
超実践型人間環境化学社会実装プロジェクト
BOOTH 21 バイオメディカル
環境・健康に向けた化学センサー・バイオセンサー

BOOTH 02 医学
汗乳酸センシング技術を用いた
新規リハビリテーション
BOOTH 07 社会・環境
人間工学/ヒューマンファクターズ:
ものづくりも安全も最後は人。
BOOTH 12 情報コミュニケーション
スマートコミュニティオペレーティングシステム
BOOTH 17 社会・環境
定期連絡船とドローンを連携させた
様々な地域配送モデルの提案
BOOTH 22 バイオメディカル
AIを用いたヘルスケア

BOOTH 03 医学
酸化ストレスを利用した新規抗がん剤の開発
BOOTH 08 バイオメディカル
生体医工学用ウェアラブルデバイス
BOOTH 13 情報コミュニケーション
MultiSoma:
複数身体との運動と感覚の同期による分身
BOOTH 18 社会・環境
データ解析
- 顧客満足度の数値化、経営・マーケティング・
スポーツのデータ解析 -
BOOTH 23 社会・環境
自動運転車と周囲交通参加者との
コミュニケーションのためのHMI

BOOTH 04 バイオメディカル
細胞培養面の曲率を操作するマイクロデバイス
BOOTH 09 情報コミュニケーション
生活に溶け込む人工知能による病気の発見
~重症化予防に向けて~
BOOTH 14 社会・環境
地震に強い建築構造デザインの最前線
BOOTH 19 バイオメディカル
病原微生物の侵略進化を基盤とした
新規生物活性化合物の創成
BOOTH 24 医学
医工連携によるメンタルヘルスの定量化プロジェクト

BOOTH 05 エレクトロニクス
生体内の微細な脈管を3D/4Dイメージングする
光超音波イメージング装置の開発
BOOTH 10 医学
ヒト由来微生物が生産する二次代謝物の
ケミカルバイオロジー研究
BOOTH 15 バイオメディカル
臓器再生やがん浸潤のメカニズム解明に向けた
三次元培養アッセイ
BOOTH 20 社会・環境
サイバーフィジカルシステムの制御
BOOTH 25 医学
創薬研究シーズ公開データベース

連携相談窓口
KLLでは、研究成果が特許化される前段階の「萌芽的」レベルでの研究連携を推進しています。「KLLと連携するって、どういことなの?」そんな思いをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。連携のきっかけや形は、状況に応じてさまざまです。KLLでは、公的機関、企業のみならず研究者が連携をイメージしやすい展示会を目指し、連携イベントの企画や窓口機能の強化に取り組んでいます。また、本学保有特許等の技術移転等に関するご質問がありましたら、慶應義塾大学研究連携推進本部(知的資産部門)の担当がお答えします。ぜひ、お気軽に個別ブース(FLOOR 01のBOOTH 10)までお問い合わせください。産学連携に関するご相談は産学連携相談窓口(FLOOR 01のBOOTH 11)にお越しください。

当日、やむを得ない事情によりプログラムや展示内容を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
[主催・お問い合わせ] 慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)
[後援] 日刊工業新聞社
(慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科・医学部)
〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-1-1
Tel: 045-566-1794 Fax: 045-566-1436 E-mail: ktm-staff@adst.keio.ac.jp